

4月23日

島原市民の皆様へ

子ども読書の日

家族で一緒に読書を楽しもう！

発行：島原市教育委員会社会教育課 TEL0957-68-5473

Q：「子ども読書の日」って、何？

A：大人が子どもの読書の大切さを理解し、子どもに本を大好きになってもらう日です。

2001年（平成12）12月に公布・施行された「子どもの読書活動の推進に関する法律」で、「子ども読書の日」が定められました。また、4月23日から5月12日までは「こどもの読書週間」です。期間中、図書館や学校では、子どもたちに本の楽しさを知ってもらうための行事が行われます。家では、一緒に読書をしたり、子どもに本を贈ったり、図書館に出かけたり、家族みんなで本に親しんでみませんか？

Q：読書をする、どうなるの？

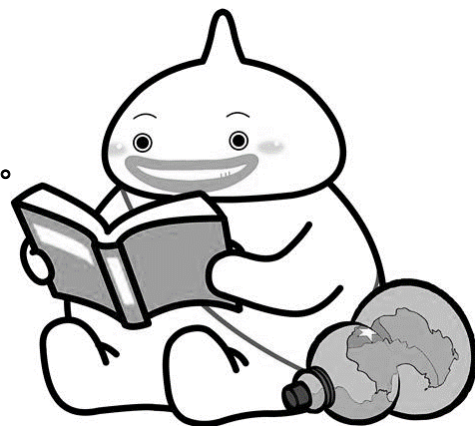
A：人生をより深く生きるための力（言葉、感性、表現力、想像力）が身に付きます。

本を読むことで、たくさんの言葉と良い文章、新しい知識に出会うことができます。本を読むことで身についた想像力は、コミュニケーション力を高めます。家族と一緒に読書に取り組めば、親子の絆を深めることができます。主体的な読書習慣は、困った時に、様々な情報の中から、自らの手で、解決策を見つけ出す力となります。「読書で過ごす楽しい時間」と「読書で身につく生きる力」は、人生をより豊かなものにしてくれます。

Q：家での読書は、どうすればいいの？

A：家に本を置きましょう。ない場合は、図書館へ行きましょう。

お気に入りの本、調べものの本、趣味の本など、まずは本を身近に置いて、読書や読み聞かせ、本を使っての情報収集を生活の中に取り入れましょう。どのような本がいいかわからないときは、図書館へ行ってみましょう。本のスペシャリストである「司書」が、あなたにぴったりの本を紹介してくれます。また、「長崎県の子どもにすすめる本500選」（県HPに掲載）も参考にしてみてください。



「第3次島原市子ども読書推進計画」は、家庭読書を推進します